少年少女きぼう新聞主催 第11回 きぼう作文コンクール

優しさ、勇気、未来 言葉にこめて

昨年12月に第11回「きぼう作文コンクール」（少年少女きぼう新聞主催）、第11回「読書感想文コンクール」（未来ジャーナル主催）の表彰式が行われました。どの作品にも子どもたちの優しい心や負けない勇気、未来への思いが生き生きとつづられています。未来部育成のページでは3回にわたり、各部門の最優秀賞に輝いた作品を紹介します（次回は27日付の予定）。

最優秀賞（自由部門）

「ぼくの弟」

東京・3年 逢坂 悠生さん

ぼくには、弟がいました。だけどいまはいません。生まれて、たった一日で天国に行ってしまいました。ぼくは、弟に会いたいです。とても会いたいです。「大賛」と大きな声で名前をよび、あそびたいです。

大賛はママのおなかの中にいたときから大きなげんきな赤ちゃんでした。毎日、ママといっしょにおだいもくをあげてげんき気だったかいました。一歳のぼくも、おだいもくをあげて、おうえんしていたそうです。

ぼくは、大賛とあそぶために三カーを集めていました。集めたミニカーを、「こっちがゆう生の」「あっちが大賛の」と分けてもいました。

大賛のいのちがあぶない、と聞き、ママが入いんすることになりました。ぼくは、おばあちゃん宅に行きました。二人が帰ってくるのを待ち続けました。

「ママに会いたい」と言って泣いたことは、一度もなかったそうです。パパはそれをはげみにお仕ごや学校活動に汗を流したそうです。ママはおだいもくと新聞いもうにちょうせんしたそうです。

二月十一日、朝、大賛が生まれました。体中にたくさんのくだをつけられました。

夜中、電話が鳴りました。いそいでママと大賛のいる病院に行きました。大賛はぼくに会うために何本も何本も注射をして待っていてくれたそうです。ぼくが、はじめて「大賛」と名前をよんだ時、すこしほえんだように思えました。

数十分すると、お医者さんに「おなくなりに、なりました」と言われました。この時パパとママは、生きてきた中で一ばん悲しくつらかったそうです。

あれから六年たち、ぼくは小学三年生、八歳になりました。大賛が生きていれば小学二年生で六歳です。きっといっしょに学校に通っていたし、たくさん遊んでいたと思います。

大賛は、ぼくの心の中にすみ、いつもぼくをまもってくれています。だからぼくは、何があってもへこたれない強い子に生きることができています。後悔の部を切る手じゅつをした時、いたかったけど泣かずにがんばりました。先生におられて学校に行きたくない時、一日も休まずに登校しました。

あるときパパが「ゆう生くんが、ねがっていればかなう、いつか大賛くんに会うことができるよ」と言ってくれました。大賛に会った時に「お兄ちゃん、かっこいいな」と言われるように、これからもがんばって生きていこうと思います。

「ぼくは最強になった」

千葉・5年 駒井 蓮人さん

「先生、ぼくの病気ですが…」

十一歳になったこの夏休みに、ぼくは決めていた質問を病院の先生にぶつけた。

ぼくのぜんそくの発作は突然だった。お母さんから聞くと、一歳六カ月の時に初めて発作を起こして病院に運ばれた。何本管につながれて意識のないぼくの姿を、ずっと忘れることはできないという。通院が始まっても、月に一度は大きな発作を起こして、夜間救急の常連だった。

そのせいか、苦しいはずのぼくが、人差し指をピッと差し出してパルスオキシメーターを待つ姿に、お医者さんをおどろかせることがたびたびあったとか。何度も入院をくり返した。そんな状態が五歳を過ぎても続いた。

ぼくの中の記憶をたどると、毎日の薬や吸入が本当にいやだったこと、保育園のプールの時間も見学ばかりだったことを覚えている。あと、睡眠や食事のお母さんの管理がきびしかった。軽いかぜや少しの疲れが発作につながるからだ。気圧も関係するそうで、台風が近づくと外出は控えた。少し体が成長すると、病院の先生に運動りょう法を教わり、一年生からスイミングを始め、二年生からはテニスも始めた。この体作りと、発作が出ないようにコントロールする生活の中で、発作は確実に減っていった。そして年飲み続けた薬をついにやめ、経過観察になり、いざという時の薬だけ持つことになった。

しかしその後、世界中がコロナになった。今までのように病院にはよれない。ぼくがコロナにかかることも絶対にできない。「発作を起こすもんか！」とぼくもお母さんも必死だった。それからこの三年半、ぼくは発作を起こさなかった。そしてこの夏、ぼくは勇気を出して、先生に質問をしたのだ。

「先生、ぼくの病気ですが…えーとぜんそく息は治ったと思っていいですか」。ものすごくドキドキしていた。

先生は、「そうね、うん、もういいでしょう」と、びっくりするほどあっさり答えた。ぼくはおどろいた顔のままお母さんと目を合わせると、にっこり笑い合った。しん察室を出ると、二人でハイタッチをして喜んだ。

実は、ぼくにはお母さんしかいない。初めて病院に連れだのの日から、二人でまっこと大変だった。思う。お母さんにはありがとうしかない。協力して支えてくれた病院の先生にも感謝しかない。ぼくのぜんそくは本当に苦しかったけど、病気で苦しむ人の気持ちや、健康の大切さ、学ぶことやいっぱいあった。苦しかったこともある。苦手な食べ物はでもいい、薬を飲むままは達人級だし、スイミングもバタフライまで泳げるようになった。将来はテニスの選手になろうかな、なんて思っている。この夏、十年の戦いに勝利したぼくは、心も体も最強になった。

挿絵 奥村かよ子

コンクールの入賞者

きぼう作文コンクール

【最優秀賞】（自由部門）
駒井蓮人（千葉・5年）「ぼくは最強になった」
逢坂悠生（東京・3年）「ぼくの弟」
【ユコー賞】（読書感想文部門）
佐々木正明（北海道・4年）「戦争の反対は助け合い」
内山雄輝（兵庫・3年）「みかえりをとめない親切」
【ホイットマン賞】（詩部門）
井上怜（宮城・4年）「わりばしマジック」
中西優樹菜（山口・2年）「おとなも子どももいっしょ」
武田佳代子（大阪・5年）「幸せの玉子焼き」
池田陸（広島・5年）「ぼくのお父さんとお母さんは67才」
梶間ありす（愛知・3年）「わたしはわたしらしく」
工藤美矢（北海道・1年）「わたしのそら」
【ピクトリー賞】（全部門）
鶴岡斗希（東京・6年）「『ぼくのマンガ人生』を読んで」
乙川月（東京・6年）「空」
大橋雄輝（神奈川・6年）「食べ物、命の大切さ」
門戸城太朗（愛知・6年）「嘘吹きネットワーク」
角本聖那（福岡・6年）「あの子と過ごした日々」
室田秀浩（沖縄・5年）「きぼう」
時本零（香川・4年）「幸せを運ぶ小さな命」
佐藤一颯（東京・3年）「ぼくの相はたからもの」
瀧崎恵美（香川・3年）「祖父のお誕生日目標金」
髙橋莉夢（宮崎・3年）「かんこし虫大しょく」
藏元杏地（鹿児島・3年）「ホットじゃんしゃ」
日下部眞志（東京・2年）「ぼくのこうかん日記」
加藤倖月（神奈川・1年）「ぼくのたからもの」
菊入光一（東京・1年）「じいじ がんばったね」
岡田理音（兵庫・1年）「ぼくのなまえ」

※「きぼう賞」は省略

読書感想文コンクール

【最優秀賞】
（高校生の部）
武田美紀子（大阪・1年）「箱の中のヒツジ」
（中学生の部）
穴井心大郎（愛知・3年）「学ばないことから学んだこと」
【優秀賞】
（高校生の部）
花井そら（埼玉・3年）「世界は誰かの宝物で溢れている」
中林正直（大阪・3年）「平和への希求」
（中学生の部）
佐々木筑紫（東京・2年）「『鮭』を読んで」
水越剛毅（神奈川・2年）「大人のやることに満足しているか？」
【優良賞】
（高校生の部）
二瓶叶瑛（福島・3年）「大人のやることに満足しているか？」
伊藤彩夏（宮城・2年）「導きの星」
高本美空（大阪・1年）「見方を変える」
（中学生の部）
田上洋子（兵庫・3年）「桃太郎を読んで」
南蓮乃（埼玉・1年）「『ぼく』の色、私の色」
【書斎賞特別賞】
（高校生の部）
髙原聡（東京・2年）「利己と利他の両立」
山田優美（岐阜・2年）「チャーリイへ送る作文」
（中学生の部）
山内乙加（大阪・3年）「みんな同じ」
池上明日佳（大阪・2年）「『人間失格』を読んで」
【佳作】
（高校生の部）
尾上凛音（大阪・2年）「歪なガラスたち」
坂上佑奈（大阪・1年）「『私の美しい庭』を読んで」
中野晃子（熊本・1年）「夢をかなえる」
（中学生の部）
本城惠子（鹿児島・3年）「『仮面』を被ったあなたへ」
角田正義（東京・2年）「『神さまの貨物』を読んで」
伊藤彩夏（宮城・2年）「導きの星」
「たすきに共につなぐ思い」
「見方を変える」

※「ジャスティス賞」は省略

あなたの髪でお試しください！
泡でふんわり® ご注文番号 34360
薬用オールインワンシャンプー
内容量450mL 医薬部外品
定期初回限定 半額
通常価格4,400円（税込4,400円）を
1,980円（税込2,178円）
送料無料

発毛促進体験全！
購入者全員に
薬用育毛剤HATSU プレゼント
サンプル2包
（2回目以降の価格は以下となります。）
ボトル 4,000円 税込4,400円 10%OFF 3,600円 税込3,960円
詰替リフィル 3,500円 税込3,850円 10%OFF 3,150円 税込3,465円
※毎月のお届け、または2カ月に1度のお届けがお選びいただけます。
※定期購入の変更・解約は1回目の5日前までにご連絡をお願いします。
ご連絡いただくまでは定期的にお届けいたします。
ご注文の際には「1月20日の聖教を見た」とお伝えください。
お電話でのご注文 0120-83-2508
携帯電話もOK 受付時間 午前8:00～午後9:00（年中無休）
お客さまのご都合による商品の返品は、未開封に限り商品到着後30日以内。（返送料はお客さま負担）
●商品はご注文確認後通常7日前後で、郵送用紙と一緒にお届けいたします。商品到着後7日以内にコンビニまたは郵便局でお振り込みください。郵便局にて郵送でお振込みの場合は振込手数料110円（税込）が加算されます。※お客さまの個人情報は当社および当社グループ会社からの商品・サービスのお知らせ以外には利用いたしません。詳しくは当社ホームページ（https://www.3838.com/）をご確認ください。
（一社）全国ローヤルゼリー公正取引協議会員
公益社団法人日本養蜂協会賛助会員
岡山県蜜田原養蜂有限会社 株式会社山田養蜂場
アピセラピーを追究する。
山田養蜂場
YAMADA BEE FARM
JADMA

うれしい3つのポイント
ポイント1 これ1本で完結！
1本でシャンプーもリンスもトリートメントもすむので、楽で助かっています！
（女性 75歳）
シャンプー リンス トリートメント 毛髪ケア 地肌ケア オールインワン
ポイント2 洗髪時間を短縮
はじめから泡で出てくる！
泡シャンプーは短い時間で洗髪ができ、髪も生き生きしています。（女性 67歳）
ポイント3 ペタンコ髪をしっかりケア
オールインワンタイプで簡単にケアができて気に入りました。
（女性 81歳）

モデル写真はイメージです。

HATSU 泡でふんわり 薬用オールインワンシャンプー
山田養蜂場の泡シャンプー
手早く ふんわり 洗髪・ペタンコ髪ケアもこれ1本！
累計販売本数 11万本突破！
※2020年8月～2022年8月末までの合計数
泡でふんわり® ご注文番号 34360
薬用オールインワンシャンプー
内容量450mL 医薬部外品
約1.5カ月分（ショートヘアの場合）
ローヤルゼリーエキス※ 完熟はちみつ※
ミツバチ由来の美髪成分たっぷり！
ハリ艶のある髪に
※個人の感想です。 ※商品の保湿剤として配合